

校長あいさつ

自ら学び 心豊かで たくましい

校 長 小出 和正

墨田中学校では、「人権尊重」と「社会貢献」の精神を基調に、知育・徳育・体育の調和のとれた人間の育成、「自ら学び 心豊かで たくましい」を教育目標としています。この「調和のとれた人間」とは、Society5.0（デジタル技術を活用し、課題を解決しながら価値を創造し、よりよく生きる社会）の時代を生きていく上で欠かせない資質・能力と考えます。この資質・能力を伸ばすキーワードこそ、「自ら学び 心豊かで たくましい」です。

義務教育最後の中学校の3年間は、とても貴重な時期です。体の成長はもちろんのこと、考え方や価値観、そして心のあり方も変化します。

本校では、中学校の3年間で「学びに向かう姿勢」と「自己の生き方」を身に付けさせることを重視した教育活動を行っています。人は、体験（自己の学びや他者との協働など）を通して様々なことを学びます。成長段階の中学生であるので、当然失敗することもあります。失敗は今後の成長につながる学びの一つとなるので、失敗することも貴重な学びの機会です。

生徒たちには、日常の生活の中で、これまで育ててきた個性や能力を生かしながら、自ら学び、他者と協働しながら勇気をもって挑戦し、自身の道を切り拓いていってほしいと考えています。そして、自分で決断し行動することの素晴らしさや達成感を実感し、自信をもって次の一歩を踏み出せる生徒になってほしいと願っています。

自己の可能性を広げるためには、自ら学び続けることです。繰り返しの積み重ね（不断の努力）が、将来を切り拓いていく力となります。

本校での3年間を通して、社会とかかわる自分の姿を描き、「自ら学び 心豊かで たくましい」調和のある人間の基盤を身に付けていくことを心から願うとともに、教職員一同、その実現に向け努めてまいります。